2025年度事業実施概要

重要度（◎：本年の重要な活動　○：重点対応項目　・：定常業務）　⟹　⟶：マンパワーを投入する期間

実施項目	ﾘｰﾀﾞ	メンバー	重要度	スケジュール（月） 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	実施内容
（1）大工道具及び建築関連資料の収集及び保管					
① 大工道具など実物資料の収集					
a）実物資料の収集	坂本	学芸全員	・	⟶	随時実施
② 視聴覚資料の収集と保管					
a）映像作品「茅採取」製作	崔		○	⟶	「阿蘇山の茅」（本編、短縮版）を製作した。
b）映像作品「伊勢神宮茅葺」製作	崔		○	⟶	「伊勢神宮の川口萱地」（本編、短縮版）を製作した。
c）ＶＨＳテープ資料のＤＶＤ化	坂本		・	⟶	100点を実施
③ 分類整理・保管					
a）収蔵庫の維持管理・整備	大村		・	⟶	棚、箱、備品購入、照明整備、収蔵スペース整理等
b）資料データベースの整備	植村		○	⟶	道具・文献・映像・写真・論文ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽへの資料登録整備
（2）大工道具及び建築関連資料等の展示及び公開					
① 常設展示					
a）常設展示の保守管理	坂本	学芸全員	・	⟶	常設展示のメンテナンス（定常）
b）常設展示の部分改装	坂本	学芸全員	・	⟶	40周年記念事業
c）関連印刷物の発行	飯盛	広報T、事務局	・	⟶	図録、ﾘｰﾌﾚｯﾄ、ｲﾍﾞﾝﾄﾁﾗｼ、封筒等の印刷（随時）
② 企画展の準備と実施					
a)企画展「建具解体新書　ほどく・くむ」	舟橋		◎	⟹	2025/3/8～5/11開催　展示計画、広報、輸送、ｲﾍﾞﾝﾄを行った。
b)企画展「植物×匠」展（東京会場・神戸会場）	崔		◎		東京：2025/7/29～9/28、神戸：10/11～12/14開催。 展示、広報、輸送、イベントを行った。
c)第20回伝統工芸木竹展（第4回神戸展）	大村	河崎	・	⟹	2025/5/24～6/29 日本工芸会共催 展示,広報,ｲﾍﾞﾝﾄを行う。
d)「一脚展 2025」	大村		・	⟶	9月開催 一脚展実行委員会共催 展示,広報,ｲﾍﾞﾝﾄを行う。
e)海外巡回展JapanHouse「Masters of Carpentry」	西山		◎	⟹	LA～2025/01/23、L3/10～7/10、SP9/29～2026/4/19開催
f)企画展「日光の金工と彩色　社寺建築の謎を解く」東京会場	植村	赤尾	◎	⟹	2025/10/10～12/7開催　展示計画、広報、輸送、ｲﾍﾞﾝﾄを実施。
g)WWD2025日本「大工と大工道具国際フォーラム」	河崎		・	⟶	7/29～8/1ｲﾍﾞﾝﾄ開催、国際木文化学会WorldWoodDay2025共催
h）企画展用備品の整備	坂本		・	⟶	随時実施
③ 企画展の中期的準備					
a）「Sumitsubo in One Hundered Forms／墨壺百態」	坂本		・	⟶	2026/3/7～5/10予定、関連調査、企画案、展示計画を作成
b）「ジョージ・ナカシマ」展（仮題）	舟橋		・	⟶	2026年秋開催予定、企画案検討
（3）大工道具及び建築関連資料等に関する調査研究及び研究誌の発行					
① 建築技術と道具に関する研究					
a）韓国	崔		○	⟹	韓国の大工道具研究の一貫として資料翻訳を一部のみ行った。
b）ヨーロッパ	西山		○	⟹	3月に現地調査および収集、6月に展示改定を行う。
c）大工技術書	坂本		○	⟶	収集資料の読解。成果公表（紀要）
d）建築部材の加工技術（部材加工痕）	植村		○	⟶	加工痕調査。大徳寺塵復元品の使用実験・成果公表
e）大工・鍛冶への聞き取り調査	坂本	学芸全員	・	⟶	大工・鍛冶への聞き取り調査・成果公表（紀要）
f）近世民家の住まい方	舟橋		○	⟶	収集資料の分類整理。成果公表
g）左官への聞き取り調査	西山		・	⟶	左官聞き取り調査の継続的実施
h）木材の利用・調達の調査	舟橋		○	⟶	社寺林資源の木材利用に関する史料の翻刻を行った。
i）情報収集活動ならびに研究者ネットワークの形成	坂本	学芸全員	・	⟶	情報収集・学会参加等
② 出版活動（研究成果の公開）					
a）研究紀要No.36の発行およびNo.37の準備	能見	学芸全員	・	⟶	2025年3月300部発行

実施項目	ﾘｰﾀﾞｰ	メンバー	重要度	スケジュール（月） 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	実施内容
（4）教育、学術及び文化に関する普及及び支援活動					
① 諸施設への協力					
a）諸施設への協力	大村	広報T	・		資料貸出、会場提供、情報提供、博物館実習など
② 教育・文化普及活動の実施					
a)開館４０周年記念「伝統工匠の技」セミナーの開催	植村	学芸全員	・		年4回開催。今年は40周年記念として職人ｼﾘｰｽﾞ。
b）ワークショップの開催	大村	北村、久保、広報T	・		各種ワークショップの開催
c）木工室の管理運営	北村	久保	・		学校向けプログラム、夏休み体験教室（8月）他 大鋸（3寸5分、5寸5分.尺）の導入、活用
③ ボランティア活動の管理・運営					
a）運営管理	大村	北村、久保、広報T	・		解説、WS、手入れなど各種活動を実施
b）茶道部ボランティア運営管理	佐々木		・		茶道イベントでの補助対応を実施
（5）竹中大工道具館の管理、運営（管理業務）					
① 管理・運営一般					
a）財務会計処理業務一般	佐々木	全職員	○		公益財団法人に合致した会計処理の実施
b）入館受付、団体受付、展示説明他	飯盛	河崎、赤尾、広報T	○		団体の受入れ日程と説明者設定の調整、実施
② 広報活動					
a）広報一般	飯盛	能見、広報T	○		館統計、広報発送管理・対応、新聞等広告手配
b）広報印刷物の発行と送付	能見	広報T	○		広報誌6月・12月3,000部・イベントチラシ3,000部（2回/年）
c）ウェブサイト・メールマガジンの維持・管理	能見	崔	・		ｳｪﾌﾞｻｲﾄ更新・ﾒｰﾙﾏｶﾞｼﾞﾝ管理・SNS更新
③ ミュージアムショップの運営	中濵	広報T、事務局	○		ｵﾘｼﾞﾅﾙｸﾞｯｽﾞ開発・製作、販売、在庫管理
④ 茶室の維持・管理	佐々木	全職員	・		茶室管理、茶室特別公開（春秋）
⑤ 休憩室の維持・管理	佐々木	全職員	・		休憩室の清掃・維持管理
⑥ 館の情報インフラの強化・管理	崔	坂本、佐々木	○		情報ｾｷｭﾘﾃｨ強化、情報ｲﾝﾌﾗの安定化、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの拡充
⑦ 理事会・評議員会、役員見学会の開催	河崎	赤尾、佐々木、全職員	○		2-3月決算承認,11月事業計画・予算承認(役員合同見学会)
⑧ 財団法人事業報告会への参画	河崎	佐々木、全職員	・		2025年3月報告会に向けて準備を行う
⑨ 運営管理の改善と効率化	佐々木	全職員	○		運営ｺｽﾄ分析と削減、関連官公庁への申請・届出

2025 年度事業実施詳細

（1）大工道具及び建築関連資料の収集及び保管

① 大工道具など実物資料の収集

a) 実物資料の収集

本年度は下記資料を収集した。

資　料　名	点数	入　手　先
フランス大工服装 フランス巡歴職人大工用杖・襷	7	Les Compagnons du　Devoir et du Tour de France
鉋刃製作工程・材料	15	山下晃功
計	22	

② 視聴覚資料の収集と保管

a) 映像作品「阿蘇山の茅」の製作

企画展「植物×匠　めぐるいのち、つなぐ手しごと」に関連し、茅の一大産地である九州・阿蘇山地域における茅採取および茅葺をテーマとした映像作品を製作した。2024 年度からの継続事業であり、7 月に完成し、同企画展において上映した。あわせて長編版（15 分）・短縮版（3 分）をともに日本語・英語字幕入り映像を YouTube にて公開した。

b) 映像作品「伊勢神宮の川口萱地」の製作

企画展「植物×匠　めぐるいのち、つなぐ手しごと」に関連し、伊勢神宮の茅葺屋根に用いられる茅（ススキ）を一手に担っている川口萱地の営みを映像作品として記録した。2024 年度からの継続事業であり、7 月に完成し、同企画展において上映した。あわせて長編版（10 分）・短縮版（3 分）をともに日本語・英語字幕入り映像を YouTube にて公開した。

c) ＶＨＳテープ資料のＤＶＤ化

2023 年度より継続して VHS テープ資料の DVD 化（デジタル化）を進めており、今年度約 100 点について DVD 化を実施した。

本年度収集視聴覚資料

映像資料名	点数	製作依頼先・入手先
伊勢神宮の川口萱地（短縮版）	1	宮本敏明
伊勢神宮の川口萱地	1	宮本敏明
阿蘇山の茅（短縮版）	1	宮本敏明
阿蘇山の茅	1	宮本敏明
計	4	

※年度計画にて予定していた「ビデオライブラリーの多言語化」「海外向け広報用映像の製作」については実施を見送った。

③ 分類整理・保管

a) 収蔵庫の維持管理・整備

害虫燻蒸、温湿度管理、資料油拭き、収納器材購入等の定常管理業務を実施した。
また収蔵スペース確保のため、資料の整理、再配架を行った（本年度は収蔵庫3階の資料を中心に実施）。

b) 資料データベースの整備

資料管理業務の効率化を目的に、道具・文献・映像・写真・図書・論文資料のデジタル化・データベース化を継続的に推進中。今年度は新規収集資料の登録作業のほか、文献資料312点の写真撮影を実施した。

（2）大工道具及び建築関連資料等の展示及び公開

① 常設展示

a) 常設展示の保守管理

器具破損、経年劣化に伴う修理等の保守管理、道具の油拭きならびに借用品の賃借契約更新を実施した（定常業務）。また本年度は経年劣化した照明器具（LED）の全面更新を実施した。

b) 常設展示の部分改装

開館40周年記念事業の一環として、2024年度より、展示解説の多言語化を行うため、壁面パネルおよびキャプションプレートの交換を実施している。本年度は引き出し展示内キャプション等について更新を行った。

c) 関連印刷物の発行

解説シート、小学生向けワークシートの印刷を行った（定常業務）。

② 企画展の準備と実施

40周年記念事業の一環として、2024年度から「世界における当館のブランド価値向上」を目指して、海外巡回展（Japan House、外務省事業）、ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技」関連企画展を開催している。「伝統建築工匠の技」関連企画展については、2024年度に引き続き、文化庁補助事業「日本博2.0」に申請し、採択を経て資金的補助を受けた。

a) 企画展「建具解体新書　ほどく・くむ」

ユネスコ世界無形文化遺産「伝統建築工匠の技」に登録された選定保存技術のうち「建具製作」の技術を取り上げ、建具の解体修理を通して受け継がれてきた建具製作の伝統技術を紹介する企画展を伝統建築工匠の会と共同にて開催した。重要文化財本隆寺本堂で使用されていた桟唐戸や、国宝本願寺御影堂で使用されていた蔀戸の部材、重要文化財建造物の建具構造模型のほか、建具修理に用いる道具などを展示した（展示品全 30 点）。あわせて展覧会図録（A4・92P、3300 円）を刊行した（800 部）。

会　場	会　期	来場者
当館 1F 多目的ホール	3 月 8 日（土）～5 月 11 日（日）	12,076 人（うち外国人 3,175 人）

（関連イベント）

名称	日　時	会　場	講　師	参加人数
講演会「伝統建具の魅力～修理で出会う先人の技」	2/23（日・祝）13:30~15:00	当館 1F 多目的ホール	鈴木正 鶴岡典慶	80 人（うち外国人 2 名）
ワークショップ「400 年前の古材でつくる香箱」	3/15（土）10:00~12:00、14:00~16:00	当館地下 2F 木工室	鈴木正 窪野良信	19 人（うち外国人 0 名）
ワークショップ「400 年前の古材でつくる香箱」	4/12（土）10:00~12:00、14:00~16:00	当館地下 2F 木工室	鈴木正 片桐努	14 人（うち外国人 2 名）

b) 企画展「植物×匠　めぐるいのち、つなぐ手しごと」展（東京会場・神戸会場）

ユネスコ世界無形文化遺産「伝統建築工匠の技」に登録された選定保存技術のうち、「桧皮葺・柿葺・茅葺」「茅採取」「檜皮採取」「板材製作」の技術を取り上げ、植物学と建築学の両方の視点から紹介する展覧会を実施した。本展は 2025 年夏に東京（国立科学博物館）で開催した後、秋に当館に巡回した。

本展では日本の伝統的な木造建築を支えてきた「植物」と「匠」の技に注目し、「組む」「葺く」「編む」「つなぐ」の 4 つのテーマで構成し、実物大の大きさで製作した木造住宅構造模型をはじめ、茅葺き構造模型、檜皮葺き構造模型、柿葺き構造模型を材料、道具、映像とともに紹介した（展示品数約 90 点）。また直接手で触れて理解ができるハンズオン展示も行い、夏休み期間中の親子連れ客の人気を得た。

会期中、職人の技術を紹介するイベント（講演会・実演・ワークショップ）を開催した（下記一覧参照）。あわせて展覧会図録（A4・180P、2,500 円）を刊行した（5,000 部）。

ア）東京会場

会　場	会　期	来場者
国立科学博物館 日本館 1 階企画展示室	7 月 29 日(火) ～ 9 月 28 日(日)	192,736 人（うち外国人 16,227 人）

（関連イベント）

名称	日　時	会　場	講　師	参加人数
体験・実演「畳のつくり	8 月 24 日(日) 10：	国立科学博	文化財畳技術保存会	1,384 名（う

かたを見てみよう」	00～12：00／14：00～16：00 の間のお好きな時間	物館　日本館 1 階 中央ホール		ち外国人 147 名）
講演会「里山の植物と匠循環する暮らしを語る」	9 月 7 日（日）13：30～15：30	国立科学博物館　日本館 2 階 講堂	・講師：國府方吾郎（国立科学博物館植物研究部グループ長） 小幡和男（ミュージアムパーク茨城県自然博物館名誉学芸員）、川上義範（茅葺き職人） ・聞き手：安藤邦廣（筑波大学名誉教授、工学博士）	103 名（うち外国人 0 人）
体験・実演「茅を葺いてみよう」	9 月 13 日（土）①10：00～12：00、②14：00～16：00	国立科学博物館　日本館 1 階 中央ホール	日本茅葺き文化協会	32 名（うち外国人 1 名）

イ）神戸会場

会　場	会　期	来場者
竹中大工道具館 1F ホール	10 月 11 日（土）～ 12 月 14 日（日）	12,034 人（うち外国人 3,181 人）

（関連イベント）

名称	日　時	会　場	講　師	参加人数
講演会「山と人をつなぐ仕事―原皮師が語る、檜皮採取の世界」	7 月 20 日（日）13：30～15：00（13：00 開場）	竹中大工道具館 1 階多目的ホール	大野浩二（選定保存技術保持者（檜皮採取））	81 名（うち外国人 2 名）
講演会「茅葺き職人と語る 里山と暮らしの循環」	9 月 21 日（日）13：30～15：00	竹中大工道具館 1 階多目的ホール	・講師：駒宏樹（茅葺き職人・美山茅葺）、大野沙織（茅葺き職人・茅葺き かぜおり） ・聞き手：安藤邦廣（筑波大学名誉教授、工学博士）	73 名（うち外国人 5 名）
現場公開「茅葺き構造模型の製作」	10 月 11 日（土）10:00 ～ 12:00 ／ 14:00～16:00 までの間	竹中大工道具館 1 階多目的ホール	川上義範（茅葺き職人）	333 名（うち外国人 83 名）
体験・実演「檜皮を葺いてみよう」	10 月 25 日（土）、26 日（日）①10:00～12:00 、②13:30～16:00	竹中大工道具 館 地 下 2F 木工室	全国社寺等屋根工事技術保存会	347 名（うち外国人 70 名）
体験・実演「畳のつくりかたを見てみよう」	11 月 8 日（土）、9 日（日） 10:00～12:00 ／ 14:00 ～ 16:00 の間のお好	竹中大工道具 館 地 下 2F 木工室	文化財畳技術保存会	314 名（うち外国人 48 名）

	きな時間			
体験・実演「茅を葺いてみよう」	11月15日（土）、16日（日）①10:00～12:00 、②13:30～16:00	国立科学博物館 日本館 1 階 中央ホール	日本茅葺き文化協会	61名（うち外国人7名）

c) 「第20回伝統工芸木竹展（第4回神戸展）」

日本伝統工芸展の木竹工部門で隔年開催される「伝統工芸木竹展」の関西展を日本工芸会と共同して開催した。

会　場	会　期	来場者
当館1F多目的ホール	5月24日（土）～6月29日（日）	6,665人

（関連イベント）

名称	日　時	会　場	講　師	参加人数
ラークショップ「刳物でつくる小皿」	6月1日(日)10:00～16:00	竹中大工道具館地下2F木工室	宮本貞治（重要無形文化財保持者）、市川正人（日本工芸会正会員）	大人 8名

d) 「一脚展　2025」

兵庫県で活動する家具作家が過去一年以内に製作した新作の椅子を一脚ずつ展示する企画展を開催した。2025年度のテーマは「椅子ともうひとつのかたち」。一脚展が継続してきた地域材への取り組みを「もうひとつのかたち」として表現し、椅子に寄り添う様々な「ひょうごの木」の作品が展示された。

会　場	会　期	来場者
当館1F多目的ホール	9月2日（火）～9月15日（月・祝）	2,881人

（関連イベント）

名称	日　時	会　場	講　師	参加人数
ワークショップ「バードコールをつくろう」	2025年9月13日(土) ①9：45～10：45、 ②11：00～12：00、 ③13：30～14：30、 ④14：45～15：45	竹中大工道具館地下2F木工室	一脚展メンバー	合計22名（うち外国人 1名）

e) 海外巡回展 JapanHouse

「Masters of Carpentry: Melding Forest, Skill and Spirit（ロサンゼルス）」「The Craft of Carpentry: Drawing Life from Japan's Forests 木の命を汲む人（ロンドン）」「Imbuídos das forças das florestas do Japão – Mestres da carpintaria: habilidade e espírito（サンパウロ）」

外務省が主催するJAPAN HOUSE巡回企画展第6期を実施する。実施時期は、2024年11月20日～2025年1月22日にロサンゼルス、2025年3月10日～7月10日にロンドン、で開催。2025年11月11日～2026年5月24日にサンパウロを実施している。
会場：JAPAN HOUSEロンドン、JAPAN HOUSEロサンゼルス、JAPAN HOUSEサンパウロ
会期：2024年11月～2026年5月24日

f) 特別企画「日光の金工と彩色　社寺建築の美しさの謎を解く」（東京会場）

ユネスコ世界無形文化遺産「伝統建築工匠の技」のうち「建造物装飾」「建造物彩色」「建造物漆塗」「日本産漆生産・精製」「縁付金箔製造」を日光社寺の永年にわたる保存修理事業を通じて紹介する展覧会を東京国立博物館・伝統建築工匠の会とともに開催した（2024年開催企画展の東京巡回展）。
展覧会では、東照宮陽明門の実物大組物模型、建築部材、製作見本、材料、道具、映像の他、東京会場限定にて国宝儀式用大工道具を展示した（展示品数82点、うち国宝1件、重要文化財5件）。会期中、各種技術に関連するイベント（講演会・実演・ワークショップ）を実施。展覧会図録（A4・128P、2,500円）を刊行した（2,100部）。

会　場	会　期	来場者
東京国立博物館平成館 1F企画展示室・ガイダンスルーム	10月10日(金)～12月7日(日)	97,234人

（関連イベント）

名称	日　時	会　場	講　師	参加人数
実演「日光の彩色・漆箔押し」	10月11日(土) 10:30 ～ 12:00 ／ 13:30 ～ 15:00／15:30～17:00 10月12日(日) 10:00 ～ 12:00 ／ 14:00 ～ 16:30	東京国立博物館 平成館 1F ラウンジ	日光社寺文化財保存会	944人(外国人 413名)
講演会「日光の彩色と金工・支える漆」	11月1日(土) 13:30～15:00	東京国立博物館 平成館 1F 大講堂	佐藤則武（選定保存技術保持者（建造物漆塗））	226人
ワークショップ「伝統的な材料で描く花文様」	11月8日(土) ①13:30～14:30 ②15:30～16:30 11月9日(日) ①10:30～11:30 ② 13:30 ～ 14:30 ③15:30～16:30	東京国立博物館 平成館 1F ラウンジ	日光社寺文化財保存会	48人
ワークショップ「銎金具の彫金」	11月15日(土)、16日(日) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00	東京国立博物館 平成館 1F ラウンジ	鈴木銎金具工芸社	40人

実演「錺金具の彫金」	11月15日(土)、16日(日) 16:00～17:00	東京国立博物館 平成館 1F エントランス	鈴木錺金具工芸社	550人(外国人 165名)
実演「浄法寺の漆掻き」	11月22日(土)、23日(日) 10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 16:00	東京国立博物館 平成館前庭	日本うるし掻き技術保存会	417人(外国人 17名)
ワークショップ「浄法寺塗でお椀をつくる」	11月22日(土)、23日(日) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00	東京国立博物館 平成館 1F ラウンジ	滴生舎	19人

g) WWD2025 日本「大工と大工道具 国際フォーラム」

2025 年 3～10 月国内各地で開催された国際木文化学会他による WORLD WOOD DAY2025 のプログラムとして、当館では 7 月 31 日（木）～8 月 2 日（土）の期間、「"大工と大工道具" 国際フォーラム」と題して、日本の誇る「木文化(もくぶんか)」を大工と大工仕事、木造建築等を通して国内外へ木文化情報を発信する各種イベントを開催した。
※講演・実演は英語で実施し、適宜日本語通訳を行った。

会場：当館 1F 多目的ホール・B2F 木工室
期間：7 月 31 日（木）～8 月 2 日（土）

名称	日 時	会 場	講 師	参加人数
講演会「世界の鉋・鉋四大文化圏」	7月31日(木)10：00～12：00	当館 1F 多目的ホール	山下晃功（島根大学名誉教授）	53名(うち外国人17名)
実演「世界の大工職人による大工道具の紹介と実演」	8月1日（金）10：00～12：00・13：00～16：00	当館B2F木工室	Klaus Seelos and Erwin Urdl（墺）、Pierre Cabrolier（仏）、Samuel Rooney（NZ）、Mathieu Peeters(ベルギー)、Phill Gregson（英）	約80名（うち外国人約40名）
実演・体験「日本の大工職人による実演・体験」	8月2日（土）10：00～12：00・13：00～16：00	当館B2F木工室	当館技能員、全国削ろう会交野大会実行員会、大谷俊行（Ton-ton）、山下晃功（島根大学名誉教授）ほか	約90名（うち外国人約40名）

h) 企画展備品の整備

企画展開催に必要な備品（映像機器、サインスタンド等）を適宜購入した。

③ 企画展の中期的準備

a) 「Sumitsubo in One Hundered Forms／墨壺百態」

墨壺の造形の魅力を伝える展覧会（2026年3月7日～5月10日予定）を開催すべく準備を進めた。本年度は関連調査を実施し、企画案、展示計画を作成した。

b）「ジョージ・ナカシマ」（仮題）

世界的に活躍した家具作家の展覧会をギャラリー・エークワッドと共催予定。2026年秋の東京・神戸巡回展。本年度は関連調査を実施し、企画案、展示計画を作成した。

（3）道具及び建築関連資料等に関する調査研究及び研究誌の発行

① 建築技術と道具に関する研究

a）韓国

日本と深い関わりをもつ中国・韓国の木造建築と道具に関する調査研究を実施している。本年度は朝鮮時代の最後の宮大工と言われた裵喜漢（ペヒハン）氏の口述書『朝鮮木手(モックス)・裵喜漢の生涯、この朝鮮の鋸も錆びてしまった』の和訳を一部実施した。

b）ヨーロッパ

常設展「世界を巡る」の改定を目的として、フランスの巡礼大工に関する研究を行い、コンパニオンと遍歴修行について、パネル解説と装束および作品展示を実施した。

c）大工技術書

大工技術書「鎌倉造営名目」「黒田宗信伝来文書」等に関する読解研究を継続的に実施中。本年度は竹中家伝来の「番匠用留」の読解・翻刻作業を実施した。また関連して「竹中の遺構」に関する調査研究を小山興誓氏と共同で進め、2026年度研究紀要向け原稿を執筆した。

d）建築部材の加工技術（部材加工痕）

古代～近世前半の建築部材の加工痕研究を継続中。昨年度継続事業として17世紀の大徳寺方丈発見鑿についてX線CT撮影を基に復元品製作および鑿の使用実験を実施し、薄型両刃鑿の特長等について論文に纏めた（2026年紀要掲載予定）。また、昨年実施の神谷神社本殿（13世紀）加工痕調査について報告を纏めた。

e）大工・鍛冶への聞き取り調査

名工と讃えられる大工や鍛冶を対象に、既往研究調査ならびに本人・関係者への聞き取り調査を、中期的課題として継続的に実施している。本年は昨年に引き続き数奇屋大工に関する聞き取り調査（中村外二工務店・升田志郎氏）を2026年度当館研究紀要にて報告すべく原稿を執筆した。

f）左官への聞き取り調査

道具の名称と使用方法を中心に、左官職人と鏝鍛冶への聞き取り調査を実施している。本年は昨年からの継続として、鏝の形状とチリ箒のつくり方に関する調査を実施した。

g) 木材の利用・調達の調査

明治後期から戦前にかけて社寺境内外の森林を対象に作成された施業計画書を対象に、社寺林資源の木材利用に関する研究を実施中。本年は史料調査および翻刻を進めた。

h) 情報収集活動ならびに研究者ネットワークの形成

道具と建築に関する情報収集を行う。本年度は、博物館視察、出版物収集などを随時実施した。

② 出版活動（研究成果の公開）

a) 研究紀要 No.36 の発行および No.37 の準備

調査研究成果の公開を目的として、研究紀要 No.36 を 3 月 20 日に発行（200 部）、学術電子ジャーナルサイト「J-STAGE」に登載した。また No.37（3 月発行）に向けて原稿執筆を行った。

著者	題名
坂本忠規・星野欣也	『東京諸営業員録』にみる大工道具関連業種について
崔ゴウン（訳）	［資料紹介］『朝鮮木手・裵喜漠の生涯、この朝鮮の鋸も錆びてしまった』（その 3）（伝統木造住宅工事編）

（4）教育、学術及び文化に関する普及及び支援活動

① 諸施設への協力

a) 諸施設への協力

各種学校、博物館、研究機関、職人団体等に対して下記の協力を実施した。

ア）実物資料貸出（2 件）

貸出先	使用目的	貸出期間	資料名
削ろう会	第 41 回全国大会 交野大会 イベント協賛	4/12～4/13	木組ハンズオン模型 積木・ジョイントマット一式
株式会社竹中工務店 大阪本店	2025 大阪・関西万博河瀬館「木の国―日本」 木造文化を大切にする竹中工務店	7/26～8/3	青峯山正福寺組物 原寸模型 木組ハンズオン模型 竹中大工道具館公式 PV 上映

イ）画像・映像貸出（7 件）

貸出先	使用目的／掲載紙	掲載期間	資料名
株式会社ザイオン	TBS「THE 神業チャレンジ」	放送日：1 月 28 日	画像 2 点：ビデオライブラリー「すみつぼとすみさし」より抜粋

岐阜県林政部県産材流通課	『令和 6 年度匠の国・岐阜県伝統建築家名鑑』	令和 7 年度 2 月上旬発行予定	画像 1 点：西岡常一愛用の道具
サイネット株式会社	『新詳　日本史探求』（仮称）	2027 年 1 月末日発行予定	画像 1 点：石斧（複製）
株式会社ロングテイル	テレビ東京「世界！ニッポン行きたい人応援団」	放送日：3 月 24 日	映像 1 点：ビデオライブラリー「削る　日本・中国・ヨーロッパの鉋」
HOH Architecten	“Re-thinking Re-use”	8 月、オランダにて	画像 1 点：“Kigumi House” より抜粋
サイネット株式会社	『図説　日本史通覧』	2026 年 2 月 25 日発行予定	画像 1 点：石斧（複製）
株式会社アルバ	『47 都道府県　ミュージアム＆ライブラリー（3 巻セット）』	2026 年 4 月 1 日出版予定	画像 4 点：大工道具の標準編成、1F ホール、木工室イベント写真、唐招提寺金堂組物の実物大模型

ウ）講師派遣（3 件）

派遣先	講演名称	開催日	講　師
大和大学理工学部	ものづくりの日本建築史	12/11	坂本忠規
近畿大学建築学部	ものづくりの近代建築史	12/1	坂本忠規
大阪大学	学問への扉「文化を見る科学のレンズ――意味合いの世界と物質の世界とは」 第 1 回「継手仕口をつくる」、第 2 回「大工道具をつかう」	7/2、7/9	大村都、久保正幸

エ）博物館実習受入（6 校）

依頼先	期　間	人数	内　容
関西学院大学、京都芸術大学、神戸芸術工科大学、神戸松蔭大学、甲南大学、佐賀大学	6/4（水）～6/6（金）、6/11～12（木）	6	博物館実習（5 日間）

オ）削ろう会への協力

職人の技能を競う競技団体「削ろう会」への支援を継続的に実施している。本年度は第 6 回北海道削ろう会交流大会へ講師派遣を行い、鉋および鑿の調整講習を実施した。第 41 回全国削ろう会交野大会では、本館のブースを設けて積み木、木組みハンズオン模型の展示を行った。「削ろう会会報」に連載として寄稿（3 回/年）している（久保技能員）。

会　場	期　間	講　師	参加人数
第 6 回　北海道削ろう会交流大会	6/28	久保正幸	約 80
第 41 回 全国削ろう会交野大会	4/12.13	久保正幸	約 400

カ）中国・寧波市天一閣博物院との国際交流提携の実施

かねてより交流のあった寧波市保国寺古建築博物館（2019 年に当館から出張展覧会「哲匠之手」を開催、その後天一閣博物院に統合）との継続的な交流を一層深めるため、「国際交

流に関する協定書（MOU)」を締結し、7月13日に調印式を実施した（大阪帝国ホテルにて開催された「寧波―日本友好都市交流対話会」の場において)。今後は、①出版物の共有、②展覧会への協力、③所蔵品管理に関する協力、④学術・教育活動の各分野において、継続的な交流を進めることとした。

キ）表千家同門会兵庫県支部茶会

当館の茶道講師の橋本先生を通じて依頼があり、２月３日（月）休館日に茶室棟８畳広間と本館１階ホールにて茶会を開催した。約２５０名の参加があり、当日はボランティア協力のもと、希望者に常設展の説明も行った。

②　教育・文化普及活動の実施

a）開館40周年記念「伝統建築工匠の技」セミナーの開催

館外学識者や技術選定保持者を講師に、ユネスコ世界無形文化遺産に登録された「伝統建築工匠の技」17の選定保存技術に関する連続セミナーを、竹中大工道具館１階ホールにて開催した。紹介した選定保存技術は①建具製作、②縁付金箔製造、③檜皮採取、④茅葺、⑤建造物木工。

これら事業の実施に当たっては文化庁「日本博2.0」事業の補助を受けた。

題名	開催日	講　師	参加人数
伝統建具の魅力～修理で出会う先人の技	2/23	鈴木正(選定保存技術保持者(建具製作))、鶴岡典慶（京都女子大学教授）	(2)-②-a)参照
金沢の伝統金箔製造―10,000分の1mmまで打ち延ばす―	5/17	松村謙一（松村製箔所、金沢金箔伝統技術保存会会長）	34名
山と人をつなぐ仕事―原皮師が語る、檜皮採取の世界	7/20	大野浩二（選定保存技術保持者（檜皮採取))	(2)-②-b)参照
茅葺き職人と語る 里山と暮らしの循環	9/21	・講師：駒宏樹（茅葺き職人・美山茅葺)、大野沙織（茅葺き職人・茅葺き かぜおり）・聞き手：安藤邦廣（筑波大学名誉教授、工学博士）	(2)-②-b)参照
伝統建築と森―技術継承のための修理用材確保における課題と展望―	12/21	鳥羽瀬公二（堂宮大工棟梁、日本伝統建築技術保存会会長）	65名

b）ワークショップの開催

「ちょこっと木工」（工作ワークショップ、土日祝日)、「鉋削りに挑戦！」、「大工道具にチャレンジ！」、春休み・夏休み子ども体験教室等、木工作家によるワークショップを開催する。また、開館40周年記念イベントとして「子ども棟上げ体験」(2月)、「積み木と木のたまプールで遊ぼう！」(3月）を多目的ホールにて開催した。また春・秋に茶室の特別公開（呈茶含む）を実施した。

これら事業の一部の実施に当たっては文化庁「日本博2.0」事業の補助を受けた。

ア）木工イベント（119件　延約4,850名）

プログラム名	実施日数／実施日	回数	講師	人数
大工道具にチャレンジ！	5/3〜6、10・11、7/26・27、9/21・23、11/15・16、12/21	13	北村智則（技能員）、久保正幸（技能員）、後藤雅宏、黒岩絵里子、当館ボランティア	約1800 うち外国人442名
鉋削りに挑戦！	4/2・19・20、5/14（PMのみ）・17、6/4（PMのみ）7/5・6、8/27（PMのみ）、9/10（PMのみ）、10/11・12、11/20（PMのみ）、12/17（PMのみ）	14	北村智則（技能員）、久保正幸（技能員）、後藤雅宏、黒岩絵里子、当館ボランティア	約1280 うち外国人461名
ちょこっと木工 ※WS「ミニスツールをつくろう」含む	4/13・29、5/18・24、25・31、6/8・14・15・21・22・28・29、7/12・13・19・21、8/3・10・11・17・23・24・30・31、9/7・14・15・20、10/4・13・18・19、11/1・2・3・29、12/20	38	北村智則（技能員）、久保正幸（技能員）、後藤雅宏、黒岩絵里子、当館ボランティア	702 うち外国人70名
「かんなくずでつくるたわし」	4/5	2	池田比早子	20うち外国人3
若手技術者向け大工道具講座	4/6、7/20、10/5、11/30	4	久保正幸	40
間伐材でつくる自分だけのボールペン	4/26・27	8	石川靖大	48うち外国人2
WS「刳物でつくる小皿」	6/1	1	宮本貞治、市川正人	8
WS「組み木・立体パズル」	6/6・7、11/24	3	北村智則、久保正幸、後藤雅宏	14
大人のための木工教室・角材編（全6回）	6/11〜13、18〜20	1	北村智則、久保正幸	5
サマーイベント「積み木と木のたまプールで遊ぼう！」	7/5・6	4	大村都、能見雅子、当館ボランティア	74 うち外国人20
夏休みこども体験教室「えんぴつ立て」	7/23	1	北村智則	15
夏休みこども体験教室「DIYこども工作教室」	7/25	2	日本DIY・ホームセンター協会	37
サマーイベント「子ども棟上げ体験」	7/26・27	4	久保正幸、当館ボランティア	40うち外国人1名
夏休みこども体験教室「木琴」	7/30	1	大村都、当館ボランティア	10
WS「おはしとはし置きをつくろう」	8/9	2	北村智則	10
夏休みこども体験教室「大工道具箱」	8/15・16	2	北村智則	16
夏休みこども体験教室「イス」	8/20・22	2	北村智則・久保正幸	16
お座りしば犬を彫ろう	9/6	1	はしもとみお	13
一脚展関連ワークショップ「バードコールをつくろう」	9/13	4	一脚展実行委員会	22うち外国人1名

天然仕上げ砥石を体験する研ぎ教室	9/25	1	北村智則、久保正幸	8
刃物研ぎ教室 Plus（全 2 回）	9/27～28	1	北村智則、久保正幸	8
大人のための木工教室・板材編（全 6 回）	10/15～17、22～24	1	北村智則、久保正幸	5
WS「足ふみロクロで器を挽こう」	11/22・23	2	原功	12 うち外国人 1 名
包丁研ぎ教室	12/3・4	4	久保正幸	32
WS「組み木・クリスマス」	12/6・7	2	久保正幸、後藤雅宏	12
WS「お正月飾りをつくろう」	12/13	2	三原裕美	13
WS「組み木・干支」	12/12・14	1	北村智則、久保正幸、後藤雅宏	12

イ）学校向けプログラム

学校団体の見学受入れおよび教員研修を実施した。また下記に加え、小・中学校の班別自由見学（25 校）の受け入れを行った。

学校名	内容	実施日	参加人数
兵庫県立森林大学校	常設展及び茶室棟解説、鉋削り体験	1/17	19
立命館守山高等学校	常設展示解説、鉋削り体験	2/12	22
神戸バイリンガルスクール	常設展示解説、鉋削り体験	5/16	34
神戸市技術実技研修会	教員研修：大工道具の使用方法研修	8/7	12
友生支援学校中学部	「六甲山の木のたまご」製作 トライやるウィークの一環として受け入れ	9/19	13
江田島市連合小学校	常設展示解説、鉋削り体験	11/20	74

ウ）茶室公開

春、秋季の特別公開では、茶室見学ツアー（当日先着順・各回定員 10 名）および呈茶（事前申込制・各回先着 10 名）を実施した。

内容	実施日	人数（ツアー）	人数（呈茶）
春季特別公開	4/19・20、5/10・11	218（うち外国人 23 名）	80（うち外国人 1 名）
秋季特別公開	10/11・12、11/8・9	132（うち外国人 30 名）	128（うち外国人 13 名）

c）木工室の管理運営

木工室の管理運営、イベント開催に必要となる道具、機械、消耗品等を随時購入した。

用途	品名	数量
新規ワークショップメニュー用	木工旋盤	3

③ ボランティア活動の管理・運営

a) 運営管理

大工道具に関心ある希望者をボランティアスタッフとして受け入れ、(1)館蔵品の手入れや整理等の補助、(2)常設展示の展示解説、(3)館内プログラムの運営およびその補助、(4)アウトリーチ活動補助等に携わってもらっている。これら活動に関連して、管理運営ならびに、スキルアップのための研修会・見学会等を随時実施した。研修会の一部の実施に当たっては文化庁「日本博 2.0」事業の補助を受けた。

内容	実施日	参加者
ボランティア事務局会議	1,3,5,7,9,11,12 月各 1 回	ボランティア事務局員
ボランティア見学会「万博大阪パビリオン」	3/26	大村都、ボランティア
収蔵庫見学会	10/10	大村都、久保正幸、ボランティア
ボランティア見学会「武庫川女子大学甲子園会館、神戸女学院大学」	10/27	河﨑敦子他職員、ボランティア
研修会「鉋くずでつくるたわし」	4/4	池田比早子、北村智則他職員、ボランティア
木工旋盤研修会	4/26、9/10, 9/19, 10/31, 12/17, 12/19	石川靖大、北村智則他職員、ボランティア
解説ボランティア茶室研修会	10/16, 11/6	橋本和義、大村都、ボランティア
ボランティア英語研修会	12/10, 12/11	ジョナサン・ストーレンマイヤー、大村都、ボランティア
拭き漆勉強会	2/20	北村智則、ボランティア有志
日本建築史勉強会	不定期	ボランティア有志
誉め合い作品展（ボランティアの制作物の展示）	毎月	ボランティア有志

b) 茶道運営管理

館内の茶道イベントに対する補助を目的として竹中工務店茶道部がボランティアスタッフとして参加している。これに付随する稽古費の支払い、消耗品の購入等の運営管理を実施した。

（5）竹中大工道具館の管理・運営（管理業務）

① 管理・運営一般

a) 財務会計処理業務一般

本館活動のための資金運用を含めた財務会計処理業務を適正且つ着実に実施している。
本年は売上増加に伴い、消費税処理を簡易課税から本則課税に変更した。

b) 入館受付、団体受付、展示説明他

団体の自由来館受入れ、解説希望グループ向け対応者の調整を着実に行ない、入館時の受付混雑緩和のための事前手配に努める。特に増加する海外来館者にむけて入館時に無料音声ガイド（６ヶ国語）の案内等を行い、観覧の満足度が高まるよう努めている。
また、子どもの来館者にはワークシート（日英の２種）を配布し、親子で楽しめるようにしている。
外部システムの利用による木工室イベント申込みの受付業務をスムーズに行い、並行して外国人来館者のための英語ページ公開や改善も継続して行う。
解説・ＷＳ各ボランティアの英語対応力向上の勉強会等の開催を検討、適宜進める。

② 広報活動

a) 広報一般

各種広報媒体へ企画展やイベント活動等を含めた情報提供を積極的に展開し、広報後の図録送付などアフターケアを含め継続して報道してもらえるよう努めた。また、博物館施設等のイベント案内に特化したSNSの利用、新規開拓に取り組んだ。

b) 広報印刷物の発行と送付

気軽に読んでもらえる広報誌「ドウグバコ」（年2回発行、作成部数6月・12月：3,000部）と当館の最新イベント案内を掲載した「イベントカレンダー」（年2回発行、作成部数6月・12月：3,000部）を発行し、関連施設、来館者などに配布ならびに発送した。また、2026年6月発行の「ドウグバコ」55号で紙媒体終了し、ウェブマガジン化への移行するにあたり、内容の検討・準備を進めている

c) ウェブサイト・メールマガジンの維持・管理

広報活動の一環として、一般向けにウェブサイトの定期的更新および企画用特設サイトの構築、メールマガジンの定期発行（隔月年4回）を行った。また、YouTube（チャンネル登録者数62095人、12/31時点）に映像20点を公開し、SNSでの投稿回数増加とともに、外国人向けに英語対応（字幕等）を充実させた。

YouTube公開内容	点数	総視聴回数（12/31時点）
【予告1】企画展「植物×匠」展ティザー映像	1	2,464
道具の手入れ『研ぎ』(Japanese version only) 日本語字幕入り	1	36,338
開館40周年記念企画展 「日光の金工と彩色」展開催記念ワークショップ「浄法寺漆でお椀をつくる」日本語字幕入り	1	1,203
開館40周年記念企画展 「建具解体新書」会場映像	1	2,147
縁付金箔の製造工程を紹介する短編映像　日本語・英語字幕入り	1	2,343
開館40周年記念企画展講演会「伝統建具の魅力～修理で出会う先人の技」	1	3,788
一脚展関連イベント『バードコールをつくろう』	1	1,550
夏休み子ども体験教室「木琴」	1	1,506
「○○×匠」講演会シリーズより「縁付金箔製造×匠」講演会「金沢の伝統金箔製造～文化財修復の金箔～」	1	951
国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展「植物×匠　めぐるいのち、	1	2,139

つなぐ手しごと」会場映像		
『伊勢神宮の川口萱地（短縮版)』	1	786
『阿蘇山の茅（短縮版)』	1	654
『伊勢神宮の川口萱地（完全版)』	1	9,904
『阿蘇山の茅（完全版)』	1	2,516
茅葺き構造模型を製作中：完成間際※限定公開	1	61
特別企画「日光の彩色と金工　社寺建築の美しさの謎を解く」会場映像	1	1,713
企画展「植物×匠　めぐるいのち、つなぐ手しごと」会場映像	1	876
企画展講演会「山と人をつなぐ仕事―原皮師が語る、檜皮採取の世界」	1	747
企画展講演会「茅葺き職人と語る 里山と暮らしの循環	1	605
国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展 記念講演会「里山の植物と匠 循環する暮らしを語る」	1	601

③ ミュージアムショップの運営

来場者サービスの一環として「木」「道具」をコンセプトにミュージアムショップを運営している。購入者の嗜好を検討しながら、当館のイメージ向上につながる新商品の開発を生産者と連携しながら進めた2025年はヒノキのえんぴつの改良、新しく薄めのエコバッグを制作した。

④ 茶室の維持・管理

敷地内の茶室を適切に維持管理し、春・秋に特別公開と呈茶イベントを実施した。

⑤ 休憩室の維持・管理

定期的なイス、テーブル等什器の清掃・消毒に努めるとともに、手指の消毒できる体制を整備し休憩室を適切に維持管理している。来館者が庭園を見ながらほっとひと息つける心地よい休憩場所を提供している。本年はテーブル作成者に大型メンテナンスを依頼、実施した。

⑥ 館の情報インフラの強化・管理

運営に必要な作業環境および情報インフラの更なる充実とセキュリティ強化を図っている。特に情報発信の手段としてメインとなるホームページの充実を図りユーザーの利便性を向上させるため、抜本的な更新対応に着手している。完成は２０２６年夏頃の予定。

⑦ 理事会･評議員会、役員見学会の開催

２月に決算の定時理事会及び定時評議員会、１０月に次年度の事業計画･予算の定時理事会及び役員見学会(役員全員)を開催し、討議を行った。

⑧ 財団法人事業報告会への参画

３月に竹中工務店グループの財団法人として、(公財)竹中育英会、(公財)ギャラリーエー

クワッドと共に出席し、本館の事業の進捗などについて報告、及び運営上の情報交換さらには企画展の共同開催についても情報交換を実施した。

⑨ 運営管理の改善と効率化

館の運営に係る管理費（固定経費）をより精度よく把握するとともに、事業費（変動費）の予実管理の充実を図ると共に効率よい運営を推進した。